

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 当院における Quenching Probe 法を用いた MPN 関連遺伝子測定

[当院研究責任者] 部署名 血液・腫瘍内科 氏名 梶口 智弘

[研究の背景] 2005 年に JAK2 遺伝子変異 (V617F 変異) が報告されて以降、骨髄増殖性腫瘍 (MPN) における遺伝子変異は WHO 分類にも取り入れられ、その重要性が増しています。しかし、一般的な外来診療において迅速に十分な遺伝子検査を行える体制は整っていません。

[研究の目的] 当院において、骨髄増殖性腫瘍 (MPN) の可能性を疑われ、遺伝子検査を行った患者さんの臨床データ (年齢、性別、検査所見等) を用いて、遺伝子検査結果と病状、血液検査所見などを検討します。MPN 患者さんの適切な診断と治療のために、遺伝子変異検査を役立てていけるようにすることが目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2018 年 4 月 1 日から 2020 年 10 月 31 日の間に当院で MPN を疑われ、遺伝子検査を行った患者さん

●研究期間： (医の倫理委員会承認日) から 2021 年 4 月 25 日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報のみを用いて研究を行います。

カルテ情報：診断名、年齢・性別、身体所見、検査結果 (血液検査、画像検査、病理検査)、治療内容

●検体やカルテ情報の管理

情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

臨床情報の集計・解析に際して匿名化して情報を取り扱い、研究成果を学会や学術雑誌で発表する際には個人を判別できるような情報は消去し、対象者の個人情報を厳重に保護しています。

情報は当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

上記に該当する方で、この研究についてのご質問や研究協力の拒否を希望される方がございましたら、お手数ですが以下までご連絡ください。

公立陶生病院

所属部署 血液・腫瘍内科 氏名 奥野 真吾

---

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139